

## 温度・湿度の実績値測定

2014/8/6 河野

WB工法の家(2005年完成)で、温度・湿度を測定したので報告する。

### 1)測定日時

2014年8月4日 10:30~5日 17:30

### 2)測定器

EL-USB2-LCD(LASCAR社製)

### 3)測定場所

①外気・玄関脇のポール内側



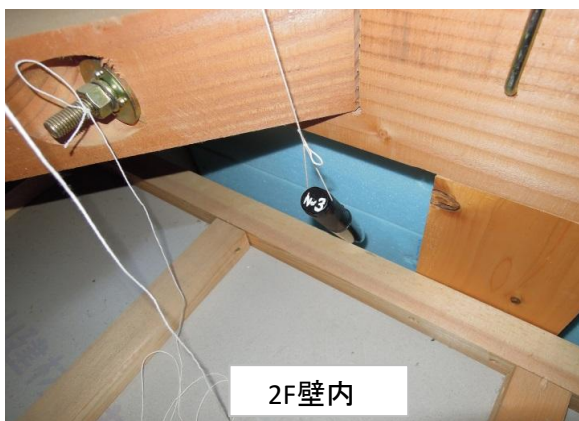
④小屋裏・小屋裏の柱上に直置き



②床下・南西面のアンダーヘルス内側

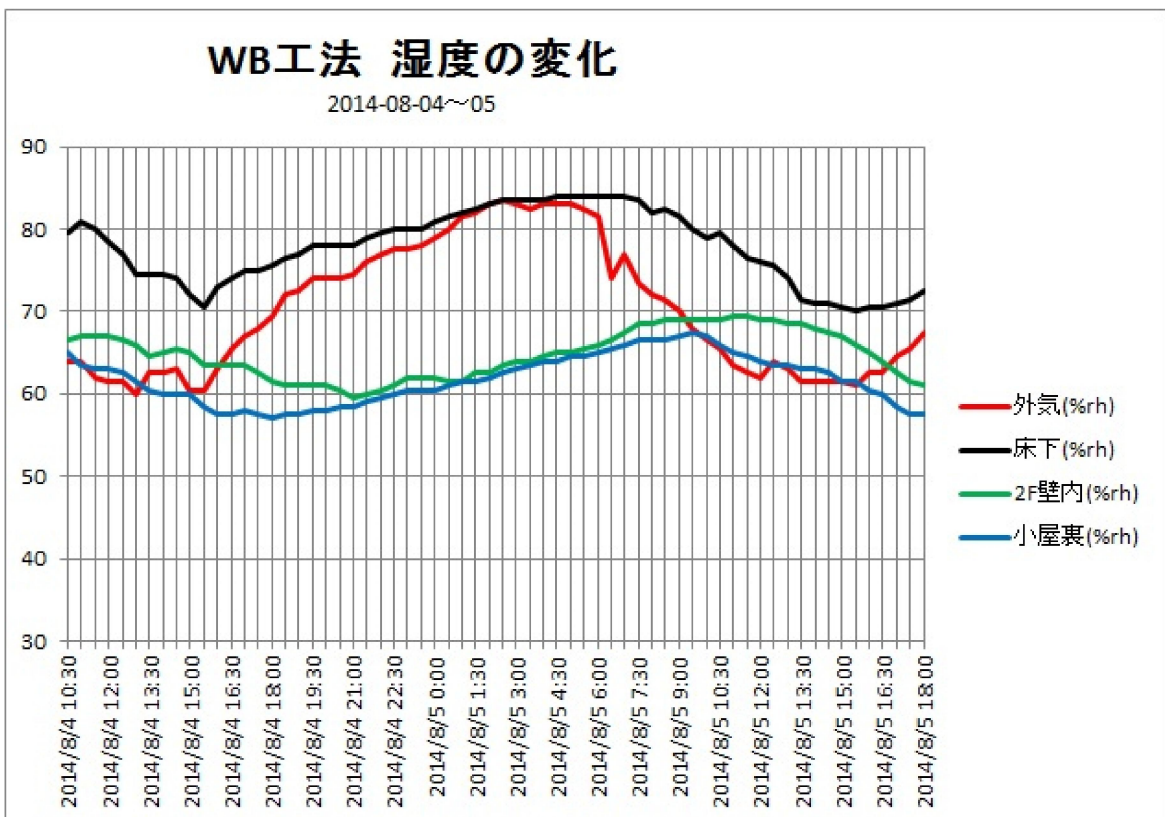
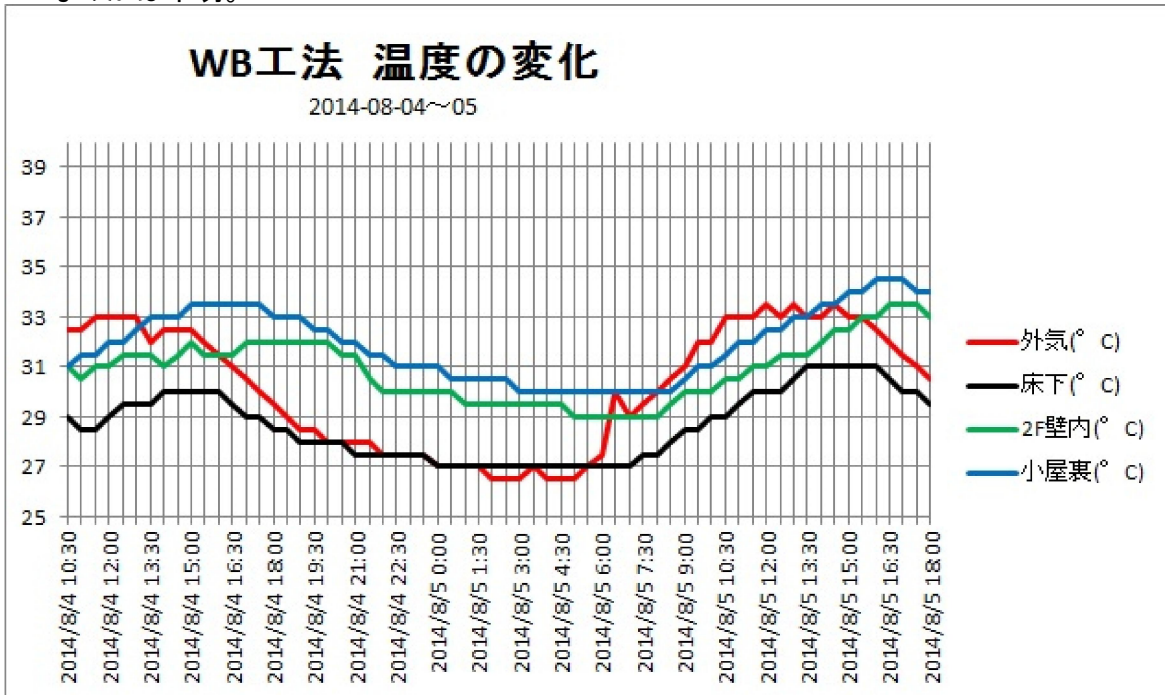


③2F壁内・小屋裏より紐で測定器を2F床面までぶら下げる



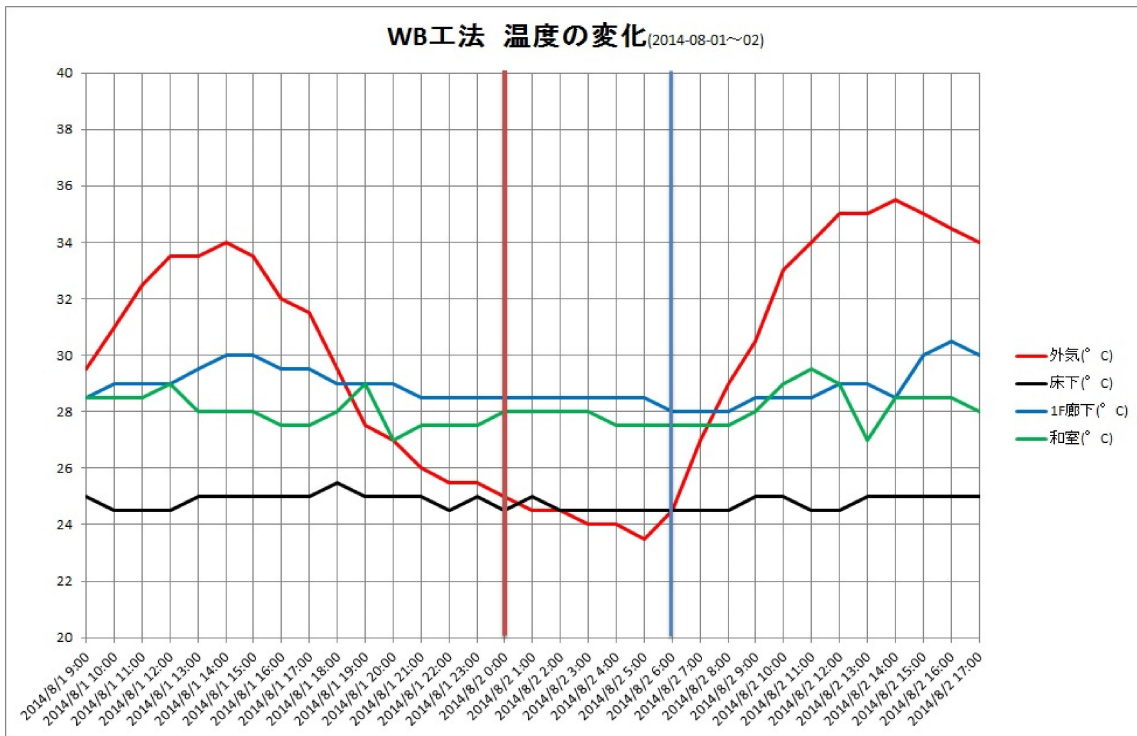
#### 4) 結果考察

- ①床下の測定器がバリアヘルスの真後ろに設置し西日があたるため、外気の影響が大きい。
- ②2F壁内の温度が若干ではあるが床下の気温と連動している可能性はある。
- ③小屋裏の気温が外気を1℃上回る時間帯があるという結果となった。
- ④小屋裏の湿度が2F壁内の湿度を若干下回っている。
- ⑤2F9壁内の温度が小屋裏より2℃程度低いのは、上昇気流のせいなのか単なる上下位置のせいなのかは不明。



5) 参考までにそれ以前のデータを参照

- ① 床下は洗面所の下で外気の影響を受けにくい場所のため温度が安定している。
- ② 和室は冷房を時々使用している。
- ③ 1F廊下の温度ははかなり安定しておりWBの効果があがえる。



6) データー消滅のミスが発生

- ① 8月2日から4日の測定で、データー取り込み中に2F小屋裏のデーターを保存ミスで無くしてしまった。
- ② 床下の温度はアンダーヘルスの真後ろだが、西日の差さない位置にあり安定している。
- ③ 外気に遅れること2時間程度で小屋裏の気温がピークを迎える。
- ④ 外気が下がっても小屋裏の気温は追従しない。
- ⑤ 外気の変化12°Cにたいして小屋裏の変化は7°C程度
- ⑥ 小屋裏の温度は「上昇時は外気に連動するが、下降時は追従しない」と言える。

